



—東地中海地域ニュース—

シリア：4ヶ国首脳会議

(9月7日付現地各報道)

9月4日、アサド大統領はサルコジ仏大統領、ハマド・カタール首長、エルドアン・トルコ首相と4首脳会談を開催し、その後4者共同記者会見及び二国間会談が行われた。

1. 4首脳会談

(1) 4日、午前10時から約1時間、ダマスカスの人民宮殿において4首脳会談が開催された。4首脳は、シリア・イスラエル間交渉を含む中東和平、レバノン、イラク、イランなどの中東情勢の他、コーカサス及びダルフル問題について話し合った。各首脳は、同会談が前向きかつ建設的なものであったとし、アサド大統領に感謝の意を表した。同会談でアサド大統領は、シリア・トラック間交渉については現在、トルコを通じてイスラエル側に伝達した直接交渉に至るための6項目に対するイスラエルからの返答を待っている状態であり、和平に真剣な米政権が発足すれば直接交渉開始に対しシリアは前向きな姿勢を示すだろうと述べた他、現在はイスラエル首相選出選挙の結果を待っているところだと述べた。

(2) アサド大統領は、公正かつ包括的な和平にとって死活的なパレスチナ・トラックを忘れることはできない、シリアとレバノンは直接交渉の段階でレバノンが交渉に参加することに合意していると述べた。

2. 4者共同記者会見

会議後、4首脳による共同記者会見が行われた。各首脳の発言は以下の通り。

(1) アサド・シリア大統領

- (イ) サルコジ仏大統領は仏及び欧州が中東和平に役割を果たすことに熱意を持っている。仏は直接交渉の段階に進んでも重要な役割を担うことを確信しており、地域的な遠隔性により地域に関する知識の少ない米国を助けるためにその役割は必要である。
- (ロ) シリア・トラック間交渉におけるトルコの努力、及びレバノンをはじめとする中東諸問題におけるカタールの努力を高く評価する。また、パレスチナ・トラックは和平交渉にとって死活的であり、国際社会が支援することを望む。
- (ハ) レバノンに関しては、未だ解決しない問題を解決するための対話など、いくつかのステップが残されている。
- (ニ) イラクについて4首脳は、政治プロセスを支持し、国民対話による解決を望む。
- (ホ) コーカサス問題については、冷戦への回帰に対して懸念する。

(へ) ダルフール問題についてはスーダン政府と4国外相との対話によってフォローアップされる諸点が提案されている。

(2) サルコジ仏大統領

レバノンの安定回復のためにアサド大統領が果たす役割は重要であり、欧州は中東和平のために役割を果たす用意がある。

(3) ハマド・カタール首長

イランとGCC諸国の間に対立関係はない。

(4) エルドアン・トルコ首相

シリアとイスラエルの第5回目の間接交渉は、イスラエルの内政状況により遅延が発生している。これまでの交渉の成果には満足している。

### 3. 二国間会談

(1) 4者会談の後、アサド大統領はエルドアン首相と会談、両国関係強化や中東情勢について話し合った。また、オトリー首相はエルドアン首相と別途会談し、経済分野での両国関係成長を踏まえた両国間協力拡大の展望等について話し合った。

(2) アサド大統領はハマド首長とも会談、両国関係及び地域情勢について話し合った。